



つくしぐみだより



2024.3

日中の陽気から春を感じたり、朝晩の冷え込みから冬の戻りを感じる今年の冬でした。雪遊びができるかなと期待しましたが、あっという間に解け、瞬く間に冬が過ぎてしまいました。

散歩先の公園でタンポポを見つけると「お花あったよ」と嬉しそうに報告してくれます。これから「春探しの散歩」が増えそうです。どんな春を子ども達が見つけるのか、今から楽しみです。



「あついの？つめたいの？」

窓から降っている雪を眺めていたAちゃん。雪は「熱いの？」「冷たいの？」と素朴な疑問が。「どっちだと思う？」と保育者が聞くと、「あついの！」とAちゃん。

翌日、雪をタライに集めてきて皆で一緒に触ってみました。Aちゃんが雪に触ると「つめたい！」と言いながら、夢中になって手で触っていました。スプーンで雪をかき混ぜたり、手で握って固めたりと思いつきに雪の感触を楽しんでいました。

「ゆき」の絵本の中で知っていた雪ですが、実際の物に触れるのは初めての経験です。

子どもの気付きや経験して感じたことを大切にしていきたいと思う出来事でした。



「できたよ」



「つめたーい」



「まぜまぜ」



一年を通して、心も体もひとまわり大きく成長し頼もしさが感じられます。つくし組に進級した当初は、まだ喃語交じりの子ども達でしたが、今では友達や保育者と言葉のやり取りも楽しんでいます。また、身の回りことも出来るが増えてきて「せんせい、できたよ！」と笑顔で教えてくれます。一人ひとりの成長していく姿をこの一年見守ることが出来、嬉しく思います。

至らない点も多々あったと思いますが、保護者の皆様には沢山のご理解とご協力をして頂き有難うございました。

つくし組担任一同

